

## B—6 大学女子学生の体型の推移

—昭和26年と昭和36年との比較—

お茶の水女子大 柳沢 澄子  
千葉大 ○須貝 容子

1. 私共は昭和36年9月、衣服寸法研究グループの調査研究の一環として、お茶の水女子大学学生150人を対象として身体計測を行なったが、この成績と、先に行なった昭和26年の柳沢による同大学学生150人の成績とを比較し、10年を距てた体型の差異について検討を試みた。

2. 研究項目は、身長・総丈・背丈・前胴丈・袖丈・背肩幅・胸囲・胴囲・腰囲・頸付根囲・手首囲・足長・全頭高・胴高・肩峰幅・胸部横径・胴部横径・腰部横径・指極・体重など実測値20項目と、上肢長・下肢長・頭身示数・胴高/身長・胸部矢状径/横径・胴部矢状径/横径・腰部矢状径/横径など計算値7項目、合計27項目である。

3. 10年間に身長は1.5cm増加したが、胸囲には大きい変化はみられない。また、背肩幅は昭和36年が優位、胴囲では昭和26年が優れるなど、その他若干の項目に差異が認められた。